

2010年度

科目名	中国語Ⅱ		
担当教員	井戸 有紀		
配当	人社2(3311)	コード	23090
開期	通年	講時	火曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	日本語と違った中国語独特の発想と表現を学ぶ。中級レベルの「生きた中国語」を身につけるとともに、その喜びを味わう。		
目的と概要	中国語Ⅰで学習した基礎知識を活用しつつ、新しい文法及び表現等について「読む」「書く」「聞く」「話す」の力をバランス良く訓練することで、実際にコミュニケーション手段として通用する中国語を身につけることを目指します。また、中国の生活習慣や文化等の紹介も取り入れることにより、言語の背景にある中国語圏の世界にまで興味を広げ、中国語をより身近なものとして受け入れられるようにします。		
成績評価法	筆記試験70%、講義内の小テスト10%、平常点20%(質疑応答、予習状況等)。欠席4回(毎学期)で筆記試験の受験資格を失います。なお、受講態度(特に私語)がひどい場合には総合点より減じる場合があります。		
テキスト	『《新版》中国語さらなる一歩』(白水社)		
参考書	各自中国語Ⅰで使った初級テキスト。(復習・確認用) 辞書は少なくとも中日辞典を持っていることが望ましい。(書籍・電子辞書どちらでも可) 詳しくは講義中に指示します。		
履修に当たっての注意・助言	履修に当たっての注意・助言 この講義は中国語Ⅰで基礎が身に付いていることを前提とし、「さらに中国語を磨こう」という意欲的な人のための講義です。さらに自宅での予習・復習・音読練習は不可欠です。安易な気持ちでは付いて行くのが大変であると覚悟しておいてください。		
講義計画			
1. 導入	中国語概説・発音の復習・初回アンケート		
2. 第一課	助動詞「可以」「要」・主述述語文・目的語が主述句の文		
3. "	" (応用練習)		
4. 第二課	理由の表現・逆接・語気助詞		
5. "	" (応用練習)		
6. 第三課	連動文・「是…的」の構文・どのように？		
7. "	" (応用練習)		
8. まとめ	第一～三課のチェック		
9. 第四課	「了」の3用法・副詞「就」		
10. "	" (応用練習)		
11. 第五課	結果補語(1)・副詞「有点儿」・仮定表現		
12. "	" (応用練習)		
13. 文化紹介	中国映画鑑賞		
14. 発音	発音の確認		
15. まとめ	第四～五課のチェック		
16. 第六課	存現文・主語がフレーズの文・同時表現		
17. "	" (応用練習)		
18. 第七課	持続のAspect・副詞「再」・部分否定		
19. "	" (応用練習)		
20. 第八課	方向補語・使役・疑問詞の不定用法		
21. "	" (応用練習)		
22. まとめ	第六～八課のチェック		
23. 第九課	可能補語・強調表現		
24. "	" (応用練習)		
25. 第十課	目的の表現・推測		
26. "	" (応用練習)		
27. 文化紹介	中国映画鑑賞		
28. 発音	発音の確認		
29. まとめ	第九～十課のチェック		
30. 総括	今後の学習について・学習アンケート		